はじめに——研究史の整理と課題の設定……1
序　章　政党による陸軍統治……1
1　政党政治と山県没後陸軍……1
(1)原敬による政軍関係の再編　(2)田中陸軍支配の確立——政党政治への適応
(3)宇垣軍政の展開——陸軍省による参謀本部の統制　(4)山梨軍縮をめぐる政治過程
(5)護憲三派内閣と宇垣軍縮
2　政党政治と中国政策……33
(1)「支那国際管理」問題と陸軍　(2)出先陸軍の統制——第二次奉直戦争と郭松齢事件
(3)「支那赤化」の脅威と日本の反応——田中政友会の成立

第Ⅰ部　二大政党制と陸軍統治の動揺　59

第一章　田中政友会と山東出兵……61
1　政党による政略出兵——第一次山東出兵の迷走……61
(1)第二次東方会議の政治過程　(2)出兵規模の縮小と青島での「立ち往生」
(3)政策決定の混乱　(4)陰謀のはじまり——奉海線問題と関東軍
2　田中陸軍支配の崩壊……83
(1)森恪をめぐる権力状況　(2)性急な出兵——第二次山東出兵の政治過程
(3)田中陸軍支配の終焉（上）——済南事件の勃発

(4)田中陸軍支配の終焉（下）——張作霖爆殺
第二章　相対的安定と破局への予兆——浜口雄幸と宇垣一成……110
1　つかの間の安定——浜口内閣と陸軍……110
(1)政党勢力と陸軍軍縮問題　(2)満州の「開放」——中国政策の新展開
(3)日本陸軍と中原大戦
2　均衡の崩壊……134
(1)民政党の急進化と宇垣軍政の行き詰まり
(2)政軍関係の緊張——朝鮮増師問題の登場
(3)経済外交の限界——井上準之助・石原莞爾・永田鉄山
補論　クーデタから「憲政擁護」へ——宇垣一成・永田鉄山と三月事件……157
(1)宇垣をめぐる政治的策謀　(2)「第三次憲政擁護運動」
第Ⅱ部　政党政治と陸軍統治——その同時崩壊……171
第三章　政党内閣と満州事変……173
1　危機の発生——満州事変の勃発……173
(1)関東軍をめぐる権力状況　(2)「権益擁護」——不拡大線の設定
2　事態の混迷……188
(1)危機の連鎖——朝鮮・南満・「北支」　(2)石原莞爾を更迭せよ

3 政党内閣の反撃……198
(1)事変の拡大と若槻内閣の対応　(2)統帥権をめぐる混乱——北満出兵問題の政治過程
4 逆転——第二次若槻内閣の崩壊……210
(1)幣原外相による「統帥権干犯」　(2)満州委任統治構想——石原莞爾と吉田茂
5 協力内閣運動のメカニズム——政友会と満州事変……220
(1)逡巡する森恪　(2)倒閣へ
第四章 政党内閣の崩壊……232
1 犬養内閣と陸軍……232
(1)支那駐屯軍の抑制
(2)陸軍穏健派との連携——中国国民政府との秘密交渉と満州撤兵問題
2 第一次上海事変の勃発……241
(1)予想外の事態　(2)犬養構想の破綻——海軍艦隊派の擡頭
(3)天皇の動揺と西園寺の元老拝辞
おわりに——一九三五～三六年・陸軍統治システムの解体……263
註　267
参考文献　385
あとがき　397
人名索引